

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	長府中学校区家庭教育支援チーム (呼称:子育て応援隊トヨレンジャー)
②活動拠点	下関市立長府中学校 下関市立豊浦小学校
③活動範囲	同上(長府中学校区)
④組織体制	<u>20 人</u> PTA 関係、主任児童委員、地域学校協働活動推進員、学識経験者など
⑤活動開始年度	令和4年度(2022年度)
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 下関市教育委員会教育部生涯学習課 (TEL)083-231-7968 (E-mail) kishogai@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ○保護者交流イベントの開催 小学校・中学校の保護者に加え、地域が一緒になって卒業イベントを開催することを通して、地域の保護者同士の顔が見える関係の構築に向けた一助とする。 ○定期的なふれあい交流会活動の開催と交流スペースの開設 ・小学校と中学校でそれぞれ保護者カフェ「ほっちゃカフェ」を学期末の保護者懇談会に合わせて行い、日常の悩みを気軽に話せる場を設ける。 ・小学校の予備入学で保護者交流会を行い、入学に向けた情報交換の場を設けることで、保護者同士のネットワークづくりと不安の解消を図る。 ・就学前の保護者を主なターゲットとしている近隣家庭教育支援チームと連携し、小学校の参観日等の開催に合わせて、校内に子どもを連れた保護者が休憩できるスペースを設け、小学校に入学した後の不安や悩み等を気軽に話せる環境を作る。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	○保護者交流イベントの開催 卒業シーズンに打ち上がる花火は町の風物詩となりつつある。イベントの企画から開催を通して、大人のご縁が広がり、学校・地域を支える人材の輪が広がっている。 ○ふれあい交流会活動 中学校の「ほっちゃカフェ」は、中学生と民生委員の交流(ワークショップ)が盛んにできている。小学校の「ほっちゃカフェ」は、話すことで気が楽になり、ほっとされて帰る保護者がほとんどである。 近隣家庭教育支援チームと連携した保護者交流スペースは初めての試みであったが、学校バザーに合わせた開催ということもあり、予想以上に多くの利用があり、保護者の交流の場として有意義なものとなった。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☒ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()